

事業番号	16 01 10	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難救助活動経費			担当課	部局	警察本部	
				課・局・室	山岳安全対策課		
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:police-sangaku@pref.nagano.lg.jp">police-sangaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり			実施期間	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。				
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年中の山岳遭難は、272件発生しており、出勤人員は、警察官1,594人、各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員386人が出勤している。（平成27年10月31日現在、既に254件の山岳遭難が発生している。）</li> <li>○ 滑落や転倒による遭難、60歳以上の高齢者による遭難が多く、山岳遭難は未だ多発傾向にある。</li> </ul>				
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、長野県山岳遭難防止対策協会会則			
	県民との協働による実施： 実施中				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）				
	北アルプス等の著名かつ人気の高い山々を多数抱え、全国から多くの登山者が訪れる長野県において、山岳遭難は多発傾向にあることから、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難者の安全救助と活動中の救助隊員の事故防止を図るとともに、遭難防止対策を強化する。				
	② 事業内容 <span style="float:right">(単位:千円)</span>				
	項目	実施方法	H28実施内容		
			H28		
			(補正前)	(6月補正)	(補正後)
	1. 県警救助隊によるパトロール経費	直接	・北アルプス等、主要山岳地帯での常駐パトロール経費等 825		
	2. 県警救助隊・山岳高原パトロール隊用装備品の整備	直接	・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備 2,741      2,801      5,542		
	3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	負担金	・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関する経費、救助装備品の購入等の経費の負担 7,102           7,102		
			合計      10,668      2,801      13,469		
事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28補正後	
	前年度繰越				
	当初予算	8,897	12,729	10,668	
	補正予算	1,215	3,804	2,801	
	合計(A)	10,112	16,533	13,469	
	Aの財源				
	一般財源	7,970	8,150	8,130	
	県債	0	0	0	
	国庫支出金	897	1,047	972	
	その他	1,245	7,336	4,367	
決算額(B)	9,886				
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01		
概算人件費	83	83	83		
概算事業費(B(A)+C)	9,969	16,616	13,552		
要求からの主な変更点	要求どおり				

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
合同山岳救助訓練の実施	7回	8回	10回			